

# ～～市民活動団体の活動内容～～

団体名 ( アグロエコロジー(農生態学)的農を目指す会 )

団体の活動内容

【すべて公開】

## (1) 団体の活動目的

アグロエコロジー的農とは、科学、実践、社会運動が合わさった新時代の農業。従来の環境に負荷が多い工業化された農とは違う。草や虫を敵とせず、耕す回数を減らし、被覆植物の力にて堆肥すら作らずリジェネラティブ(大地再生)循環を進める。無農薬、無肥料で行い、広い意味で有機・自然農が進化したもの、生産者と消費者という意図して分ける言葉も消えて解放される

野田市生まれ、ずっと風景を見続けていると貴重な畑、水田、雑木林が数々の開発によって無くなって行くことに心を痛めています。日常の生活に関しても、派手な大型スーパーが幾つも出来、沢山の食糧、品物は並んでいますが、物価高で値段が高く切り詰め我慢して買えないで困っている高齢者、年金暮らし、老老介護の人たちは多い。

見た目と現実はずれ、生活に余裕なく自分たちの暮らしを維持するのもままならない。高齢化の問題は地域内の結びつきも薄れ暮らしも周りの住環境の崩壊が続く。先を見据えた情報すら持ち得ずに思考停止状態。追い詰められた現実とその心の隙間に容赦なく必要もない大量の甘いデジタル情報が強引に入って来て振り回され続ける。

昔のイギリス的、囲い込み事業、開発が市内で推し進められています。イギリスでは次々に農地を奪われ潰され小規模農家すら存在するのも疑わしい。皆、労働者にされ支配されてしまった、そのイギリスでは格差階級社会がシステム化され生活は厳しい。イタリア、フランスは小規模農家、村、共同体を守り続け支配されずに自給自足、スローフード運動へと展開し豊かに暮らしています。

アグロエコロジー的農とは「科学」(生態学・環境学)、「実践」(農業)、「社会運動」(暮らしを変えて行く力)が合わさった再生の為の農業です。畑は野菜を作る場所だけでなく、そこには小宇宙と繋がる秘密が隠されています。それを解き明かす場所でもある。草花も植え色の鮮やかさにして、小さな昆虫の動きに学び、育てる過程を大事に自然環境を意識して風、雨、空気感など感じて行う。

## 団体の活動内容(詳細)

**在来固定種を主にした世界に通用する小さな、小さな農学校を始めます。**

目指すは「草や虫を敵とせず、微生物の為に出来だけ耕さない、昆虫の為に草花も多く植え無農薬、無肥料で自然循環させる」自然環境に優しい理想の農業を目指して、動的平衡に沿って崩壊と再生を繰り返す自然界の循環システム、流れ方も学んで行きたい。

2025年4月下旬から、園芸福祉ファーム「お～い船形」、コミュニティカフェ古民家「蔵楽」の小さな畑をお借りして始める予定をしています。(野田市船形 288-2)5月の連休明けたらスイカ、ナス、ピーマン、シシトウ、トウモロコシ、カボチャ、被覆植物のカバークロップ種を直播します。

## (3) 団体としてPRしたいこと、その他

※団体ホームページ URL ( [http:// www.cinemaclubnoda.blog24.fc2.com/](http://www.cinemaclubnoda.blog24.fc2.com/) )

「シネマクラブのだ」ホームページお借りして活動情報発信中。理想のアグロエコロジー的農を目指して、1反程の畑があれば数人で実践出来ます。どなたか貸してくれる方はいませんか。自然農。無農薬、無肥料に理解がある方いませんか。農と野菜を通して繋がって行く地域再生型の街づくりです。